大学合格、おめでとうございます！

大学時代は、自由にやりたいことや興味のあることを選んで没頭できる、人生でも特別な日々といえます。学業はもちろん、サークル、ゼミ、部活動、アルバイト、留学や旅行・・・様々な活動を通して見聞を広め、色々なことにチャレンジし、貴重な経験をたくさん積みましょう。

また、大学には日本全国、そして世界各国から人々が集まってきます。多種多様な人たちとの出会いの中で、刺激に満ちた学生生活を送ることができるでしょう。学生時代に経験したことや学んだことは、あなたにとってかけがえのない大きな財産となるはずです。

全力投球で大学生活を充実させることで、その先の人生をも素晴らしいものにしていけます。この冊子が、少しでもその助けになればと思います。

目 次

1. 大学生の学業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 ページ
2. 大学での英語について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 ページ
3. 大学生活　プラスα ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9 ページ
4. 大学生の資格取得 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11 ページ
5. 最後に・・・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14 ページ

1. 大学生の学業

大学では、専攻学科の必修授業以外は自分で学びたいものを選択することができます。各授業の内容や計画、使用する教材、評価方法などが記載されたものを**「シラバス」**といい、学生たちはそれを参考にしながら授業を選択します。

授業の単位

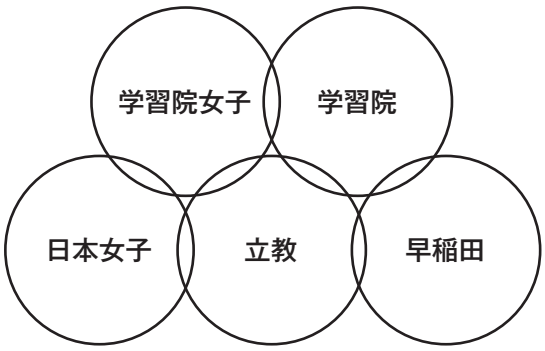
大学は、それぞれの専攻で決められている単位数を取って、それをクリアすると卒業できるというシステムです。４年制の文系で、だいたい１３０～１４０単位くらい取得するのが標準的。でも単位数は専攻によってかなり違いがあります。大学の授業では、１・２年生で一般教養や共通科目の授業をとり、専門的な授業がメインになるのは３年生からというのが一般的です。授業のコマ数（授業数）は、それぞれの学部や専攻によって大きく違ってきますが、２・３年生の頃は比較的授業時間数が多くなります。１コマの授業が２単位または４単位というのが一般的です。だいたい半期で終わるものは２単位で、１年を通して行う授業は４単位。ただし、実習の授業は通年で１単位ということもあります。

こんな制度もあるよ

単位互換制度

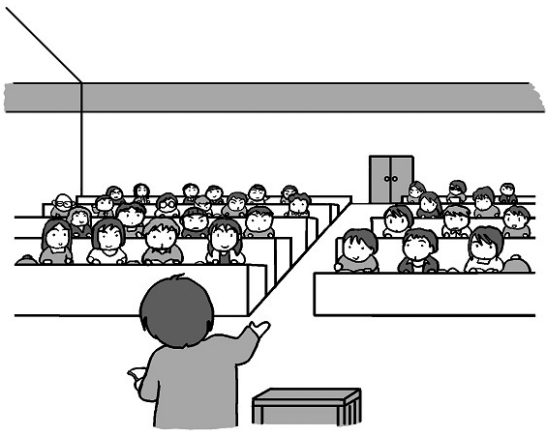
大学の枠を超えて、他大学の講義を受講でき、取得した単位を卒業に必要な単位に加算できる制度。

[例] 下記５大学は単位互換制度を実施（f-Campus）
https://www.f-campus.org



授業内容

大学の授業は大きく２タイプに分けられます。まずは、**「一般教養」**や**「概論」**などの講義形式の授業。多くは、「大教室」と呼ばれるかなり大きな教室で行われます。学生の座席は階段状になっており、黒板やスクリーンなどは遠くの人も見やすいように、大きなものが設置されています。



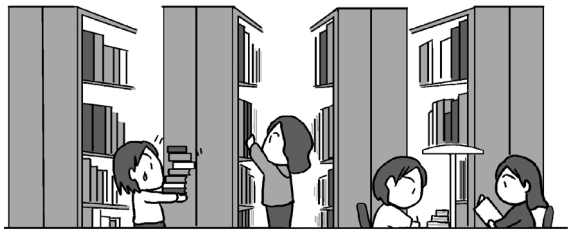
もう一つは、少人数で行われるゼミ形式の授業。先生の研究室で１つの机を囲んで授業を行うなど、かなりアットホームな雰囲気なのが特徴です。３年生や４年生になると、だいたいの大学でゼミが必修となり、最後には卒論（卒研・卒業制作）も控えています。ゼミの授業は一般的に、毎回担当者がテキストをまとめてレジュメ（要約プリント）を作って発表したり、ディスカッションを行ったりして進行させていきます。理系の場合、実験や研究が増え、グループごとに与えられた課題に対してデータを集め、考察してレポートを提出するようになります。

テスト

テスト多くの大学は、前期と後期の２期制です。一般的に、前期は４月から７月半ばまで、後期は９月半ばから２月上旬まで。これらの日程も大学によって様々です。前期・後期の終了後には、大学での重要イベントである**「テスト」**が行われます。大抵は日常の授業の出席状況もさることながら、このテストの出来次第で、その授業の成績や単位を取得できるかどうかが決まります。日頃からきちんと授業に出席し、自分のノートをしっかり作っておきましょう。

授業によっては通常のテストは行われず、**「レポート」**を提出させる先生もいます。そのレポート課題について、たくさんの本を読まなくてはならなくなるので、レポートはテスト勉強以上に時間がかかります。分量も「一般教養 3,000 字程度・専門科目 5,000 ～ 10,000 字程度・卒論 20,000 ～ 40,000 字（原稿用紙 50 枚以上）程度」とかなりあり、英語で書くこともあります。

設備

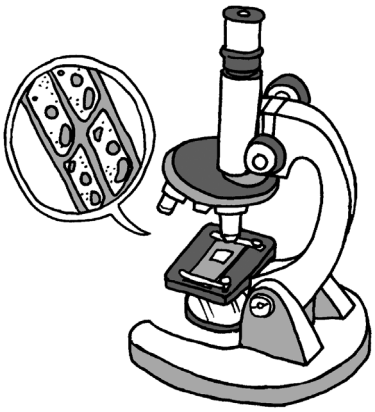


大学では、学生は授業を受けるだけでなく、より自発的な学習や実践の必要性が重視されています。ここが、中学や高校と大きく異なる部分です。そういった学習を進める上で、大学図書館の活用は無視できません。インターネットを通じ、日本国内だけでなく海外の資料・情報を収集することもできます。書籍等の文献のみならず、インターネットなどの情報環境に対応できる知識やスキルも身につけるために、図書館を活用していきます。なお、自分の在籍する大学だけでなく、提携大学や国会図書館などの公の図書館も大いに活用しましょう。

実験

理系学部、特に理工系の学部に進学すると、実験は必修となります。医歯薬系の学部や、家政学系統でも栄養学を専攻すると実験を課されることがありますが、理工系ほど頻繁ではありません。

一般的に実験は、１年次に必修で課され、①授業に参加して実験をし、②実験結果に対する考察をレポートにまとめる、という手順で行われます。実験では、正しい値がとれるまで何度でもやり直しということもありますので、時間や忍耐力を多分に要求されます。また、ただ値がとれるだけではなく考察（その数値からどんな結論が導き出されるか）の内容も吟味した上でレポートを提出しなければなりません。成績もレポートで決まりますから、学生は必死です。このように紹介すると大変そうなイメージを持ってしまうかもしれませんが、大学生にとって実験はとても楽しいものです。というのも、受験のときは単なる暗記事項としてだけ強制的につめこんでいた知識を、実際の現象としてリアルに感じ取ることができるからです。卒業生たちからも「実験は大変だけど、楽しい！」という声をよく聞きます。



理系学部に進学するみなさんは、ぜひ実験にしっかり取り組んで、科学の世界を実感し楽しんでほしいものです。

第２外国語

第２外国語は、必修の大学とそうでない大学とに分かれます。卒業に必要な単位かどうかは、カリキュラムを調べてみてください。必修の場合と、必修でないけれども履修してみたい場合には、履修申請の手続きが必要になります。

第２外国語の選択の基準は様々ですが、特に文系（文学・地域文化・地理）の学部で特定の地域が自分の研究に関わってくる場合には、自動的に関連言語を履修することになります。単純な例を挙げると、フランス文学を専攻するのであれば、第２外国語としてフランス語を履修することになります。

自分の興味のある言語を自由に選べるということであれば、勉強のしやすさや興味がもてる国の言語を勉強するとよいでしょう。また、「将来はアジアのマーケットを視野にいれたビジネスをおこしたい」という夢をもっている人は中国語を勉強するとよいでしょうし、「世界で広く話されている言語を修得したい！」という人はスペイン語などがお勧めです。

色々な選択肢がありますし、選択にあたっては大学の先輩が親身に相談にのってくれるケースが多いですから、情報収集をした上で意欲的に勉強できるものに決定しましょう。

未修科目があると…

理系学部に進学する場合、特に医歯薬系の学部は物理･化学･生物は必修と考えておきましょう。例えば医学部に生物・化学を勉強して入学した場合でも、物理が１年次の必修単位に設定されていることが多いので、物理が未習の人は入学後大変苦労します。同様に、薬学部入試を化学で突破できたとしても、入学後に待っているのは生物や物理の必修授業です。テストで点をとれないレベルだと落第・留年してしまうので、必死に勉強しなければならないのが現実です。

テストで落第すると追試がありますが、中には追試に料金がかかる大学もありますし、医歯薬系の大学は授業料も高めのことが多いため、留年してしまうと金銭的にも大変です。医歯薬系に進学する場合は特に、物理・化学・生物のすべてに関して一通りの知識をつけておくべきでしょう。

教授

大学で授業を教えている先生は、教授・准教授などと呼ばれています。それぞれの先生が専門の研究分野を持っていて、研究者として活発に活動している先生もたくさんいます。学会などで先生が発表するときに、そのゼミに所属している学生がお手伝いをすることもあります。

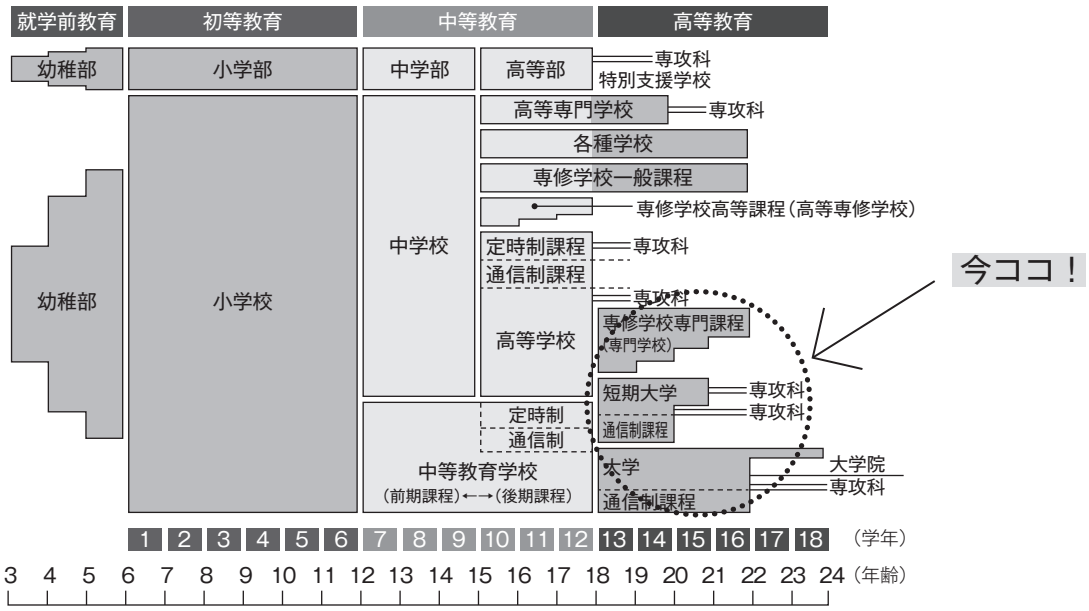
テレビなどに出ている先生も多いので、自分が興味を持った先生のいる大学を目指す人も増えてきました。自分が進学した分野でどんな先生が活躍しているのかを調べておくと、参考文献や資料を探すときなど今後の勉強・研究に何かと役立ちます。

研究

大学では、４年生になるとほとんどの学部で卒論を書きます。卒論を書くということは、１つのテーマについて研究をしてまとめるということです。文系では、本や調査を基に分析をして研究を行います。理系では、卒業研究という形で、研究室にこもって実験をし続けるケースが多いです。もっと研究を続けたいと思えば、大学卒業後に大学院へ進学するという道もあります。大学院では多くの場合、卒論を基にしてさらに詳しく研究していきます。

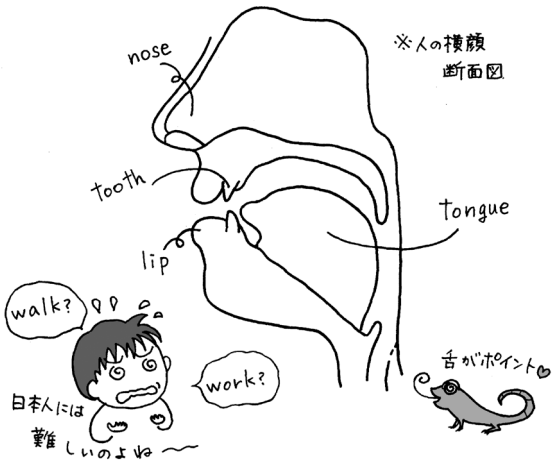
日本の学校系統図

（参考：文部科学省ホームページ）



2. 大学での英語について

英語が苦手な人は、受験が終わって「やっと解放された」と思うかもしれませんが、大学入学後の勉強は、英語なしでは語れないといってよいほどです。



ほとんどの大学で英語は必修科目ですので、単位が取れないと留年の危機に陥ることもあります。英語の習得に力を入れている大学では、英語・英文学系の学科でなくとも英語の授業数がかなり多くて大変、ということもあります。

また、大学に入学してからの英語は「英語の授業」にとどまらず、様々な授業で必要になります。例えば、理系学部でも英語の論文を読んでレポートを書いたり、外国人の先生が英語で授業をしたりします。さらに英文でレポート作成を要求されることもあるので、「英文法ができない」「長文読解が苦手」「英作文ができない」という人は大変です。大学では、英語はできることが前提で授業が行われるので、きちんと勉強しておかないと苦労を強いられます。さらに近年では、TOEIC® で一定のスコアを獲得できないと、落第してしまう大学も増えています。

しかし、逆に英語ができると大学で吸収できる経験や知識はケタ違いのものになります。テストやレポートがスムーズにできるだけでなく、留学したり、英語の論文を通して研究を深めたりすることもでき、大学生活がとても充実したものになるのです。

留学生

最近は、多くの大学で留学生が増えており、キャンパスは国際色豊かです。大学生になったら、ぜひとも外国人と交友関係を広げたいものです。異なった文化背景を持つ人たちから刺激を受けることによって、学業に取り組む上で視野が拡大し、人間的にも大きく成長できます。留学生とのコミュニケーション手段は、相手の日本語能力にもよりますが、多くの場合は英語です。

留学生は、たとえ母国が英語圏ではなくとも、学校で英語を学んでいる人がほとんどで、英語を自在に話せる人がたくさんいます。日本の大学でも、日本人学生が留学生とともに英語で行われる授業に参加することが、珍しいことではなくなってきました。もはや英語が話せるということは、就職するときまでにできればいい問題ではなく、大学生としても必須の能力になりつつあります。外国語を身につけるには、継続が大切ですから、できるだけ早くから会話力の養成をスタートしたいものです。

四谷学院でも、大学生の皆さんが 55 段階システムで取り組める英会話の**通信講座『すらすら話せるシチュエーション別英会話』**を開講しています。ゲーム感覚で楽しく取り組める独自のトレーニングで、学業などで忙しくても、毎日少しの時間で無理なく続けられるおすすめの講座です。

→詳しくは巻末をチェック！

こんな講座もあるよ

四谷学院の通信講座は「だれでも才能を持っている」を理念に、資格を取得するための講座や、発達支援、趣味・実用講座まで、様々な通信教育であなたの自己実現をサポートします。

ネイティブ・イングリッシュ

英語を勉強したのに会話できない悩みを 1 日 15 分× 3 ヵ月で解消します。
本格ネイティブ発音＆独自の動体聴力メソッドでみるみる上達！

55段階ボールペン字

美しい文字を短時間で習得するための講座です。
1 日 20 分、リズム学習でキレイな字が書けるようになります！

硬筆書写技能検定対策

日本書写技能検定協会編集協力の「検定対策講座」です。歴史ある資格で、
専門的な知識と技術が業界を問わず広く社会的に認められます。
デジタルの時代だからこそ、履歴書に記載してあなたの技能のアピールができます！

発達障害児支援士

発達が気になる子どもへの適切な関わり方を身につけるための資格認定講座です。
子どもとかかわるすべての人に知っておいてほしい知識や支援のノウハウが満載！

ほかにも役立つ講座がたくさんあります。詳しくはホームページをご覧ください。

URL https://yotsuyagakuin-tsushin.com/

3. 大学生活 プラスα

部活・サークル

大学には、授業以外の課外活動の場として部・同好会・サークルがあります。

まず**「部」**は高校の時の部活同様、目標に向けて真剣に活動します。活動時間が長く、強制力もかなりあります。試合に出たり、大会に出場したりと、活動範囲も全国区に及びます。その分、学校から活動費用が支給され、学内に部室を持つこともできます。また、大学の部活はバラエティーに富んでいるので、高校ではなかったものもたくさん目にすることができるでしょう。

次に**「同好会」**はサークルと部の中間くらいに位置しています。真剣さにおいては、部活ほどではありません。サークルと大きく違う点は、同好会には学校から活動予算がある程度支給されるところです。法律などを勉強する学術団体もあります。

最後に**「サークル」**は大学の課外活動の集団としては一番多く存在する団体です。大学によっては、何百というサークルが活動をしています。サークルには大学に登録している団体と、未登録の団体があります。サークルの種類は、文化系から体育系・イベント系など多種多様です。活動形態も様々で、何かと毎日集まっているところもあれば、週に１回とか月に１回、または何かイベントがあったときにだけ集まるところもあります。

授業を受けに行くだけでも自然に友達ができてしまうのが大学ですが、部や同好会・サークルなどの団体に所属すると、かなりバラエティーに富んだ広い範囲で友達を作ることができます。しかも横のつながりだけではなく、先輩や後輩との縦のつながりもできます。先輩との交流があると、テストやレポートの貴重な情報を教えてもらえる上、就職するときに力になってくれることもあります。

～人気のアルバイト～

大学生になると、多くの人がアルバイトを経験することになるでしょう。アルバイト選びのポイントは「講義や部活・サークル活動の合間に効率よくアルバイトできること」ですが、大学生に有利で人気が高いアルバイトの代表格といえば、やはり「塾講師・家庭教師」です。

講師のアルバイトは何といっても時給面での好待遇が大きな魅力ですし、大学受験までの知識と経験をそのまま活かせるのも人気の理由です。教えるのは主に小中学生。授業のスタイルは「個別指導」か「集団クラス」に大別され、より自分にあったスタイルを選択することができます。「集団クラス」を選択する学生は将来教職を志望していることが多いようですが、特に教職を目指していない場合でも取り組みやすいのが個別指導。一人の生徒に集中できるので、準備も含めて指導がしやすく、生徒としっかり向き合って成長を感じることができるので大きなやりがいや喜びを感じることができます。

アルバイト経験は、就職活動の面接でも重視されることがあります。将来つきたい仕事につながるような内容のアルバイトを選ぶのも一考です。やりがいや喜びをしっかりと感じられるアルバイトを選択すれば、単に労働の対価を得るだけでなく、価値ある経験としてあなたの将来に必ず役立つものになるでしょう。

四谷学院でアルバイトしよう！

四谷学院では、個別指導講師やその他のアルバイトを募集しています。今までたくさんの卒業生が四谷学院で活躍してくれています。皆さんもぜひ、後輩たちのサポートをしてあげてください！

個別指導講師

受験を通してあなたが体験した「達成感」と「わかる喜び」を
生徒に伝えてあげてください！詳細は別紙プリントをご確認ください。
1コマ（80分）2,000円～　学習指導・授業内容報告書の記入など

★都合のよい校舎・時間で働ける　★希望の科目のみでOK　★就職に有利
★ノルマなし　★資質・スキルを高める研修あり　★交通費別途支給　★随時昇給

受付・事務アルバイト

四谷学院の受付・事務のアルバイトも募集中です！
詳細は別紙プリントをご確認ください。

4. 大学生の資格取得

大学生になると、授業つまり卒業単位取得のための勉強ばかりでなく、大学で学んだより専門的な知識を将来の職業に結び付けるための選択肢として、資格取得の勉強を始める人も増えていきます。専門性を深めるための資格のほかにも、自分の強みを客観的に示すことができるように資格を取るということもあるでしょう。また、職業に直結する公務員や公認会計士など、「資格取得」と一言で言っても様々な目標・目的があります。資格や検定は、将来、といってもわずか数年後の就職活動の際には、あなたにとって大きな武器になります。採用に有利に働くのはもちろんですが、将来的に高収入が望めるなど、大きなメリットが期待できます。

昨今では、多様性が重要視される傾向にあります。1 つの世界だけでなく、様々な世界を知り、視野を広げることで、一人ひとりの違いを尊重する柔軟性のある人間へと、成長していくことができるでしょう。そうした意味でも、自分の学部・学科で学べる内容とは、あえて異なる分野の資格や検定を受験する人もいます。

大学生になって、今度はより大きな目標＝「生涯、成長し続ける」ことを目指すステージへと前進します。自分に「投資」して能力を伸ばすことは、みなさんの人生をより充実させるためにとても重要です。人気の資格・検定はぜひ、大学在学中に取得しておきましょう！

【お勧めの資格・検定・講座】

全学部にお勧め

＜ TOEIC® Listening & Reading Test ＞

今やキャリアアップに英語力は必要不可欠なものになりました。そんな中 TOEIC Listening &Reading Test は世界約 160 カ国で実施され、英語力の証明としては最も信頼性の高い試験であると言えます。日本では、個人による受験に加え、約 3,600 の企業、団体、学校が採用し、年間約 250 万人が受験しています。なお、大学院入試では一定のスコアを取得している人に対しては、英語の試験を免除することもありますので、早いうちから取り組むことをお勧めします。

＜ 簿記３級 ＞

「簿記なくして経営なし」と言われるように、企業の経理事務に不可欠のスキルです。仕事に活かすチャンスが多く、「役に立つ資格」として根強い人気を誇ります。どの企業でも歓迎される簿記は、税理士・会計士など高収入で人気の資格のファーストステップとなる入門資格です。

心理学・文学・教育学・人間科学・法学・医学などの学部にお勧め

＜ 心理学入門 ＞

私たちが生活している中で体験する「心の動き」を解明するのが心理学という学問。日常に密着した学問なので、さまざまな生活場面がその題材になりえます。心理学とは？という初歩的なところから、心に生じる障害とその治療法についての基礎知識が学べるので、心理のプロ「臨床心理士」や「公認心理師」を目指す方にも最適です。大学で心理学を学んでいない方も、入門講座では取り組みやすい身近な事例を使って心理学の基礎理論を理解でき、自分自身や日常生活をあらためて考え直すことにも役立ちます。

※ 四谷学院通信講座では「心理学入門講座」のほか、「臨床心理士指定大学院入試対策講座」も開講中です。詳しくはホームページをご覧ください。

法学・政治系、独立開業や不動産関連に就職を希望する方にお勧め

＜ 宅地建物取引士＞

宅地建物取引士は、宅地・建物の取引のスペシャリストとして、不動産業界で必要不可欠な存在です。さらに、宅建試験は法律系・不動産系の資格試験の登竜門であり、活躍のフィールドはますます広がっています。試験では民法全般の知識が問われますから、法学部で学んだ知識を生かして取得しやすい、有利な国家資格といえるでしょう。

※ 四谷学院通信講座では「宅建講座」を開講中です。詳しくはホームページをご覧ください。

＜ 行政書士 ＞

様々な公的書類の作成や手続きを行い、企業や市民と官公庁をつなぐ法律のプロが行政書士です。法改正の流れを受けて、書類作成に関する相談業務も行えるようになりました。一般企業では法務部や総務部で、専門知識を持つ有資格者として求められます。

商・経済・経営系学部、金融関連に就職を希望する方にお勧め

＜ ファイナンシャルプランナー（FP）２級 ＞

ファイナンシャルプランナー（FP）とは、保険・税金などの金融知識を元に、個人資産の設計・運用を行うスペシャリストです。マネー教育先進国・アメリカでは公認会計士や弁護士と並ぶステイタスのある資格。日本でも 2002 年に国家資格化されました。銀行・証券・保険・不動産の分野への就職を有利にするために、目指す人も多い資格で、取っておいて損はありません。

教育・福祉学部、子どもに関わる仕事を希望する方にお勧め

＜ 発達障害児支援士資格認定講座 ＞

「発達障害児支援士資格認定講座」は、発達障害についての基本的な知識と支援のノウハウを学べる講座です。今では、学校生活を送る上で支援が必要な子どもはクラスに２～３人はいると言われています。そのため、「包括的な支援」が求められる時代になりました。発達が気になる子どもへの適切な関わり方を身につけるため、保育士さんや幼稚園教諭、小学校の先生など「今まさに子どもとかかわっている人」はもちろんのこと、教育に関心のある学生や保護者の方にも役立ててもらえる講座です。

※ 四谷学院では予備校で受験生のサポートをするだけでなく、発達障害のある子どもたちを支援するための通信講座も開講しています。

※ オンライン講座「発達障害児支援士資格認定講座」、保護者向けの「発達障害児ライフスキルトレーナー資格認定講座」を現在開講中です。詳しくはホームページをご覧ください。

5. 最後に…

キャンパスライフを送るにあたって、具体的なイメージは描けたでしょうか？もちろん入学後の皆さんは、ここで紹介した以上に多くのことを経験することになるでしょう。高校までとは異なる自由な環境に、はじめは戸惑いもあるかもしれません。しかし、自分で考えて行動に移せる自由があるからこそ、大学生活は皆さんの選択ひとつで大きく変えることができます。

これまで受験勉強を頑張ってきた皆さんには、ぜひその選択を楽しめるような大学生になってほしいと思っています。その経験があれば、今後人生の岐路に立ったときも、自信を持って自分の道を選び取っていけるはずです。

大人になって振り返ったとき、「楽しい大学生活だった」「この道を選んでよかった」と思えるようなひとときを過ごせるよう、四谷学院一同願っています。

四谷学院 通信講座

四谷学院OB・OGの皆様に贈る
英会話講座の決定版

The 55 Secret Steps to
Speaking English LIKE A NATIVE

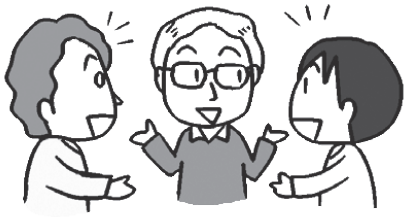
すらすら話せる 55段階式 シチュエーション別英会話

＼そうです！／
英会話も、なつかしい“45級”からスタートできるんです。

こんなことありませんか？

- **大学のキャンパスは世界各国からの留学生でますます国際色豊かに！**
- **バイト先で外国人のお客さんに英語で質問されることも！**

あなたの身近でも、英会話の必要性を感じる場面は多いのではないでしょうか？



今や、英語が話せるということは、社会人になるときまでに身につけばいい問題ではなく、大学生としても必要な能力になりつつあります。

そこで、

**四谷学院でも
55 段階システムで取り組める
英会話講座を開講しました！**

**スモールステップで確実に身につくのは、大学入試科目だけじゃなく、英会話も同じ。
55段階をしっかり活用して大学合格を果たしたあなたに、多くを語る必要はないでしょう。**

**いつでも質問！
丁寧な回答！**

もちろん「学習中の疑問点・学習相談・アドバイスが欲しいとき」も、いつでもメールで質問できて、先生が丁寧に回答してくれます。

**1日5分から
初心者もOK!**

『すらすら話せる シチュエーション別英会話』は、1日5分からスタートできて、いつの間にかすらすら話せる、ゲーム感覚のトレーニング!英会話初心者でもOK。通学なし!レッスンなし!だけどいつの間にか覚えて身につく講座です。

今なら プレゼント！

基本単語だけでこんなに話せる！

シチュエーション別 実践フレーズ 440

先輩の55英会話体験談

石川 真由 さん

1STEPが本当に短時間で済むので、気軽に勉強に取り組めます。生徒として四谷学院に通っていた頃の「55段階が進む楽しさ」を再体験することができていることもうれしく感じています。

受講料 申込シチュエーションごと 34,800円（税込）

分割払いも可能！

- 「ビジネス編」「気持ちや意志の表現編」「日本紹介編」「外国人との交流編」「海外旅行・滞在編」を開講！
- 商品到着後8日以内に返品すれば、費用は一切かかりません。
※送料はご負担下さい。

＼大学生になっても、55 段階で待ってますよー／

くわしくは Webへ

まずは8日間無料でお試しください！

https://yotsuyagakuin-tsushin.com/55english/